



広島市立宇品小学校 平成 25 年 2 月号

学校だより No.10



広島市立宇品小学校 校長 前重幸美

宇品小学校 学校教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育成する

よく考える子ども (知) やさしい子ども (徳) たくましい子ども (体)

<教育環境を整えるために>

4 月から 10 か月、私たち教職員は、子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせ、「生きる力」をはぐくみ、保護者や地域の人々に「信頼される学校づくり」を目指してきました。

また、「子どものためになるか」を全ての判断基準とし、「教育環境の整備・充実を図り、教育効果を上げる」ように努めています。そしてその中でも、子どもたちが自分たちの力で、自分たちの教室や学校をきれいに清掃したり、ごみを落とさないように努めたりすることにより、お互いが気持ちよく過ごすことができる教育環境を目指しています。

<清掃ビデオ>

12 月 10 日 (月) 13:50~13:55, 12 日 (水) の 8:25~8:30, 美化委員会児童が出演・制作した「清掃ビデオ」を各教室で見ました。ほうきの使い方やぞうきんの絞り方、清掃用具の片付け方などの手本を示したものを見て、全児童が学習しました。

清掃用具を大切に扱い、自分たちの手で自分たちの学級や学校を美しく整え、気持ちよく過ごすことができるようにしていこうとする気持ちをはぐくむのがねらいです。

(美化委員会担当 金尾誠可 若狭修平 西村彩香 上田悠)

<脱靴場・かさ立ての清掃>

脱靴場を美しく整えるために、清掃の手順を全校で統一しました。靴箱、マット・すのこ、コンクリート部分、かさ立て、ごみの捨て方、片付けのそれぞれについて、一つ一つ具体的に手順を示し、各学級で指導しています。すのこを置く場所や清掃手順もまちまちでしたが、今では手順に従って、効率的にスムーズに取り組んでいる様子を見ることができます。

これまで、脱靴場の清掃用具を段ボール箱に入れて各学級前の廊下に置いていましたが、この度、清掃ロッカーに収まるようにバケツを購入しました。廊下から段ボール箱を無くし、廊下の環境整備に努めていきたいと思ひます。

また、登校時に雨が降り、その後やんだ日は、傘の忘れ物が多いです。忘れず持ち帰る習慣を付けさせたいと思ひます。特に金曜日には「上靴、傘を忘れずに持ち帰る」よう繰り返し指導しています。これらのことも、自分たちの手で身の回りの「環境を整えていく」ということにつながっています。

(清掃担当 清水奈々子)



靴箱清掃の様子

<おかしのごみ>

毎朝、体育館周り、校舎周り、運動場や植え込み、土手の斜面等に子どもたちが食べたかと思われる菓子の箱や袋、ペットボトル、空き缶、みかんの皮などのごみが落ちています。

また、グレーチング（排水溝上の網目の金属製のふた）の溝にごみを落としたり、体育館玄関の屋根にペットボトルや空き缶を投げ上げたりしているのを見かけることもあります。左の写真は1月29日（火）の朝、正門周辺に落ちていたごみです。

登校時のみならず、放課後、学校に遊びに来るときには食べるものは持って来ないように学校では指導しています。家庭の協力をお願いします。



1月29日（火）朝のごみ

<避難訓練>

1月24日（金）2校時、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。

- (1) 地震によって引き起こされる事故や被害について知り、避難への心構えをもたせる。
- (2) 地震発生時における避難行動の基本を身に付けさせる。
- (3) 津波警報発表時の避難の仕方を知る。

の3つの目標で行いました。



机の下に一次避難

だまって、すみやかに机の下に入ります。



津波に備え二次避難

1階児童は3階教室へ、2階児童は4階教室へ避難します。



運動場に集合

全ての訓練終了後、運動場に集合しました。



校長先生の話

人数を確認し、全員の無事が分かった後、校長先生の話をお聞きしました。

津波を想定して上の階へ移動し、避難する訓練は初めてでした。サイレンを地震とみなして行いましたが、児童は指示に従って机の下にすみやかに入ることができました。

次に津波警報が発表されたという想定で、1階・プレハブの児童は3階に、2階の児童は4階に避難しました。そこで約10分間、静かに待つことができました。全ての訓練終了後、運動場に出て全員が無事であることを確認した後、校長先生の話をお聞きしました。

(避難訓練担当 黒木 照子)

<基準服の回収>

保護者の皆様の協力により、基準服の着用は定着しつつあります。

「学校だより 10月号」で伝えたように、必要な児童に譲るために「基準服回収引き出し」を職員室入口前に設けています。

基準服の譲り受けは「PTA 総会の後」と「PTA 祭り」の2回ですが、回収は常時行っています。ぜひ協力をお願いします。

(PTA 会長 高木祐紀 教頭 増田紀美)



<ふれあい相談日>

「学校だより 9月号」でも紹介していますが、本校では、平成22年度より、毎月第3火曜日(9:00～16:00)を「ふれあい相談日」としています。お子様の学校での様子や成長の様子など、「ふれあい相談員」と電話で相談したり、面談したりすることができます。

あらかじめお知らせいただくと時間の調整ができます。相談を希望される方は電話などで連絡してください。また急ぎの場合は、当日でも結構です。

ふれあい相談員

(養護教諭) 越智 祐美 吉田 宝恵 (保健主事) 福永 徹
(教頭) 叶堂 秀城 増田 紀美

(ふれあい相談日担当 教頭 増田 紀美)

<文化芸術体験事業>

1月29日(火)、「平成24年度文化庁“次代を担う子どもの文化芸術体験事業”」として「東京演劇集団 風」による、ミュージカル『星の王子さま』を鑑賞しました。この事業はワークショップや団体との共演に参加し、優れた舞台芸術に身近に触れる機会をもつことにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことをねらいとしています。演劇の中で、児童はタイミングを見はからって客席で立ち劇団員と一緒に歌い、6年生はステージに上がって歌うために、ワークショップ(12/19)や朝会(1/23)で練習してきました。

1月23日(水)は「光と影」「ぼくは行く」の2曲を全校で練習し、音程や声を出すタイミングを確認しました。本番が近づくにつれて、あちらこちらから練習の歌声が聞こえてくるようになりました。廊下を歩きながら口ずさんでいる児童もいました。

当日は立つタイミングも良く、口を大きく開けて一生懸命歌っている姿が印象的でした。劇団の方も児童の歌声がすばらしく、その様子に感動し、思わず涙が出たと話されていました。

本番では、午前の公演では「地理学者」として前重校長、「呑み助」として叶堂教頭が、午後の公演では「地理学者」として増田教頭、「呑み助」として叶堂教頭が参加しました。

(教務主任 片岡美佐子、文化芸術体験事業担当 木村孝)

<プレハブ校舎建設>

耐震工事に備え、プレハブ校舎が建ちます。2月5日(火)体育館南側に仮囲いができる予定です。作業はその中での行われます。完成は3月下旬の予定です。



3月1日から7日まで

春の火災予防運動を実施します

南消防署水上出張所 TEL255-6616